

梅毒・HIV検査をお受けになった方へ

【梅毒血清反応検査結果】 ※ウインドウ期：検査を受けても正確な判定ができない期間のことで個人差があります。

スクリーニング検査 (一次検査)	確認検査 (二次検査)	結 果
RPR	TP抗体	
陰 性 (-)		感染していません。 (ただし、※ウインドウ期: 3~4週間があります)
陽性 または 疑陽性 (+) または (±)	陰 性 (-)	感染をしていないか、または感染初期である可能性があります。 医療機関を受診し、詳しい検査等を受けてください。
陽性 または 疑陽性 (+) または (±)	陽 性 (+)	感染しています。 医療機関を受診し、検査や治療については、医師の指示に従ってください。 パートナーも感染している可能性があるため、検査をお勧めします。

【HIV検査結果】 ※ウインドウ期：検査を受けても正確な判定ができない期間のことで個人差があります。

スクリーニング検査 (一次検査)	確認検査 (二次検査)		結 果
抗原抗体同時検査			
CLIA法	WB法	PCR法	
陰 性 (-)			
陽 性 (+)	陰 性 (-)	陰 性 (-)	感染していません (ただし、※ウインドウ期: 4~8週間があります)
	判定保留	陰 性 (-)	
		陽 性 (+)	
	陰 性 (-)	陽 性 (+)	感染しています 医療機関を受診し、治療については医師の指示に従ってください
	陽 性 (+)		

今回の結果が
「感染していません」の方へ

ただし、より正確な判定のためには、感染リスクから
3か月以降の再検査をおすすめします。

伝える? 伝えない? あなたのために… だれに? どこまで?

HIV陽性のことや感染機会、自分のセクシュアリティについてなど、自分の情報をだれにどこまで伝えるかは、正しい答えがあるわけではありません。焦らずにあなた自身が考えて決めてよいことです。

だれかに伝えようと考え、「伝えたときにちゃんと受け止めてくれるか」、「自分以上に不安になるのではないか」、「これまでと同じ関係が維持できるだろうか」と、様々な迷いや不安が起こることでしょう。

だれに、どこまで伝えるかは、あなた自身が精神的に落ち着いてから、その人とのこれから関係を考えて、ゆっくり答えを出してください。

他のHIV陽性者がどのようにしているかを知ることもヒントになるかもしれま

せん。HIV陽性の人たちをサポートしている相談機関では、電話相談やホームページで情報を提供してくれています。(P38参照)

身近な人に、伝える? 伝えない?

信頼できる人に伝えることで、身近に相談できる人を持つことは、あなたにとって大きな力となるでしょう。しかし、逆に相手が事実を受け止めきれず、これまでの人間関係を損なうようなこともあるかもしれません。

身近な人だからといって、すべてを伝えなくてはいけないわけではありません。「だれに、どこまで、伝える? 伝えない?」は、あなたにとってサポートになるかどうかを考えて決めてよいことです。それ

を考えるために必要な時は、医師等の医療機関のスタッフ、専門相談員、NGO・NPO、保健所のスタッフ等に相談をしてください。

パートナー

パートナーに伝えるということはパートナーとのこれから関係を考えることになり、いくつものハードルがあるでしょう。一つ一つゆっくり考えてください。パートナーに伝えない場合でも、セーフアセックスを心がけることは大切です。

また、パートナーがHIV陽性である可能性が考えられる場合は、結果を伝えてHIV検査を勧めることが望ましいですが、その場合もあなたが精神的に落ち着いていることが大切です。

陽性であることをパートナーに話をする場合、タイミングや方法をよく考えましょう。まずHIVやエイズについての一般的な知識や情報から伝えることも方法です。また、自分一人で伝えることが難しいときは、主治医や看護師、専門相談員等にも相談してみましょう。

家族

日常の接触ではHIVは感染しません。家族にHIV陽性のことを伝えるかどうかを躊躇している時は、急いで結論を出す必要はありません。あなたの気持ちが必要なうち、無理に話す必要はないでしょう。

友人

だれもが必ずしも、HIVやエイズについての情報を十分に知っているとは限りません。そのため、あなたの話を十分に受け止めることができない場合も考えられます。その一方でHIV陽性について聞いたことで、身近な相談相手となってくれる場合もたくさんあります。日常の接触では感染しません。必ずしも伝える必要のない付き合いもあります。だれに伝えるか伝えないかは、焦らず慎重に考えてよいことでしょう。

職場や学校で、伝える? 伝えない?

自分のHIV陽性について、職場や学校で話さなくてはならないものではありませんし、話さないことを負担に思う必要もありません。

しかし、上司や同僚、又は教師や同級生に話して理解してもらうことができれば、あなたがいくらか生活をしやすい面もあるでしょう。例えば、体調を崩しやすい仕事を避けてもらえたり、職場や学校であなたの味方になってくれるかもしれません。

焦らずに、周囲をよく見て、あなたを理解してくれるのはだれなのかをよく考えながら、時期を選んで行動しましょう。

伝える?
伝えない?
だれに?
どこまで?

あなたのために…

